

閉校記念誌

添田町立
津野小学校
添田小学校
中元寺小学校
落合小学校
真木小学校

2025年3月

目次

◆ご挨拶

添田町長 寺西明男……………3

添田町教育委員会教育長 高瀬光一……………4

添田町議会議長 畠田勝廣……………5

◆津野小学校……………6
）9

◆添田小学校……………10
）13

◆中元寺小学校……………14
）17

◆落合小学校……………18
）21

◆真木小学校……………22
）25

◆添田小学校（令和7年度開校）……………26
）27

閉校に寄せて

令和4年に休校となった津野小学校を含む町内5つの小学校が令和6年度をもって閉校となり、新たに「添田小学校」として生まれ変わります。

閉校は地域にとって大きな変化をもたらします。長年にわたり、地域の子どもたちが学び、成長してきた場所がなくなることは、寂しさと共に多くの想い出を振り返る機会でもあります。学校は、ただの教育の場ではなく、地域コミュニティの中心でもありました。運動会や文化祭、地域の行事等、子どもたちと保護者、地域の皆様が一体となって楽しんできた瞬間が数多くあります。子どもたちの笑い声や、先生たちの熱心な指導が響く教室の風景は、地域の宝物でした。

統合により、新たな学校が生まれることは、未来への希望でもあります。新しい環境での出会いや学びは、子どもたちにとって大切な経験となるでしょう。しかし、閉校の寂しさを忘れず、これまでの歴史や絆を大切にしていけることも重要です。

地域の人々が協力し合い、子どもたちが安心して学べる環境を整えることが求められています。また、閉校した学校の想い出を語り継ぎ、地域の文化として残していくことも大切です。

この閉校は終わりではなく、新たな始まりでもあります。地域の絆を深め、未来を見据えた教育を進めていくことが、私たちの使命です。子どもたちが笑顔で成長できるよう、ともに歩んでいきましょう。

最後になりますが、各小学校の歩んできた歴史がこれからのより良い未来へと繋がっていくことを心より願っております。開校以来、各小学校に対しての格別のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後も新生、添田小学校への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。閉校のご挨拶とします。

添田町長
寺西明男





添田町教育委員会
教育長 高瀬 光一

小学校閉校に寄せて

平成14年3月に閉校した旧英彦山小学校、令和4年3月に休校した津野小学校を含め、町内6つの小学校が、令和7年4月1日、新生「添田小学校」として新たな一歩を踏み出すこととなりました。

いずれの小学校も地域の方々の学校教育に対するご理解、ご協力のもと、歴史と伝統を育み続け、教育・文化の拠点、そして住民の心のよりどころとなってきました。この間、数々の教育実績を残すとともに、陸上女子走り幅跳びでオリンピックに出場した山下博子氏をはじめ、多くの人材も輩出してきました。

しかし、石炭産業最盛期には町内で千名を超える小学生が在籍したものの、全国的な少子化の波は例外なく本町にも押し寄せ、ほとんどの小学校が複式学級を余儀なくされるほどになりました。変化の激しい、さらには予測もつかないといわれているこれからの時代を生き抜いていくために、これから成長していく過程で直面する様々な課題に自分の良さを発揮しながら乗り越えていく力と自分の志を立て粘り強く挑戦し続ける力を獲得してほしいと願っています。

統廃合と新校舎建設は、そのために必要な環境整備であり、子どもたちの笑顔を載せた新たな船出と考えています。

これまで脈々と受け継がれてきた各小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぐとともに、工夫を凝らした学習活動を行うことで、確かな学力と健やかな体を育成しながら、「ふるさと添田」を知り、地域を愛する教育にも力を入れ、思いやりや感謝、志を育み、「再編してよかった」と語り継がれるような新しい学校になってほしいと願っています。教育委員会としても、地域の方々と学校との連携を一層図り、子どもたちが安全で安心して学べる学校環境づくりを支援していく所存です。

結びに、開校以来、各小学校の教育振興にご尽力くださいました地域の皆様、母校を愛する卒業生の皆様に深甚なる感謝を捧げるとともに、今後とも新生「添田小学校」へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。閉校のご挨拶とします。



添田町議会
議長 畠田 勝廣

閉校に寄せて

歴史と伝統、多くの卒業生を送り出した添田町立津野小学校、落合小学校、中元寺小学校、真木小学校、添田小学校の閉校にあたり議会を代表して一言挨拶を申し上げます。

わが国の急激な少子高齢化・人口減少による社会環境・構造の変化、更には公共インフラの整備更新は各地の課題となっています。本町も例外ではなく、町内の小学校5校を統合することとなり、令和7年3月末をもって各小学校の長い歴史に幕を閉じることになりました。

卒業生の皆さんはもちろん、地域住民の方々も寂しい思いでいっぱいのことと思います。私も自身も卒業生の一人としてとても残念です。

しかし、学校で過ごされた6年間、楽しいことや苦しい事、友達と遊んだ校庭など、たくさんの思い出は、皆さんの心の中にいつまでも残っていることと思います。

そして小学校は教育活動と併せて、まさに地域づくりにおける中心的役割を担い、子どもたちも、地域の皆様方に見守られ、地域の発展とともに育っていきました。

また、それぞれの小学校では地域の特色を生かした独自の教育が高く評価され、数多くの賞を受賞し、卒業生も各方面でご活躍をされています。

令和7年4月から新しい小学校となります。これまで築き上げてきた各小学校の歴史や校訓を忘れず、添田町が目指す子ども像となるよう、新しい出発にエールを送ります。

最後になりましたが、添田町立小学校を、これまで長きにわたり、御支援を賜りました卒業生・地域の皆様、これまで支えて頂きました歴代の校長先生や教職員、保護者の皆様、そして全ての関係者の皆様に衷心より感謝申し上げます。閉校に寄せての言葉とさせていただきます。



昭和47年度 卒業生在校生記念
昭和48年3月

3年生の社会見学
56年度



日本セメント香春工場の見学記念
いろんな計器でびっくりしたね



入場行進
みんなしっかりがんばった
秋の体育祭 57年度

平成5年3月25日
西日本新聞掲載

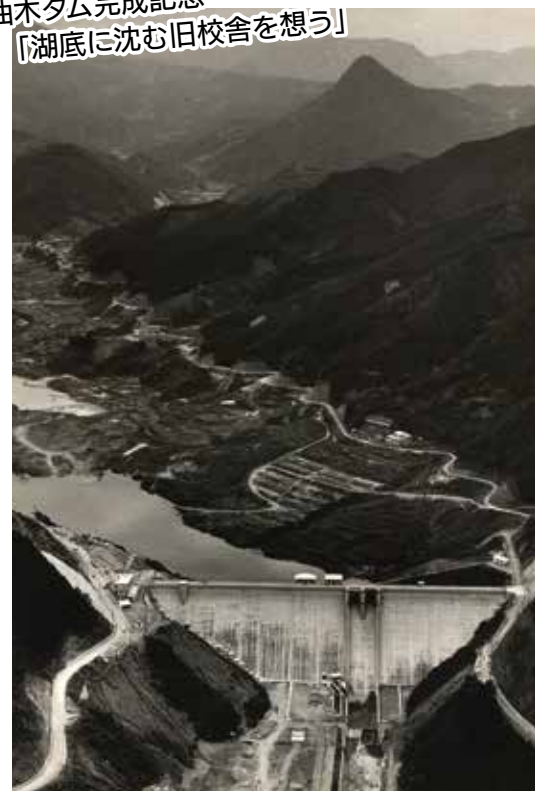


宿泊した
旅館の玄関で



思い出深い修学旅行
58年

油木ダム完成記念
「湖底に沈む旧校舎を想う」



新校舎移転 昭和46年5月8日



勅諭伝達 大正5年8月



卒業記念写真 大正13年3月

小学校、中学校の校舎と
柿の山、堀切、天ヶ谷方面



校舎とその付近 昭和45年の初め



新一年生入学記念 本校(旧校舎玄関前)
昭和46年4月6日



平成6年4月6日
読売新聞掲載

沿革

- 明治6(1873)年
寺院を仮校舎として下津野小学校
が開校
- 明治7(1874)年
小倉県(現 福岡県東部、大分県北部)
より命名され上津野小学校が開校
- 大正6(1917)年
上・下津野小学校が合併し津野尋常
高等小学校本校と分校を設置
- 昭和16(1941)年
津野国民学校と改称
- 昭和22(1947)年
校名を津野小学校と改称
- 昭和30(1955)年
添田町と津野村が合併、添田町立
津野小学校と改称
- 昭和31(1956)年
津野小学校の校旗調整、同時に男子
帽賞・女子バッジ制定
- 昭和39(1964)年
校歌制定発表会開催
- 昭和46(1971)年
油木ダム建設により校舎を新築し移転
- 昭和47(1972)年
上津野分校を閉校し本校に統合
- 昭和58(1983)年
津野小学校創立百周年記念事業
- 平成4(1992)年
山村留学制度実施
- 平成16(2004)年
オーストラリアからの山村留学生の
受け入れ
- 平成22(2010)年
山村留学制度休止
- 平成25(2013)年
添田町小規模特認校制度により小
規模特認校に認定
- 令和2(2020)年
コロナウィルス対策緊急事態宣言のた
め臨時休校(4月13日～5月31日)
- 令和4(2022)年
休校式



校舎



校舎内



正門

思い出を懐かしむ



休校式にて
令和4年3月



伝統のエイサーを披露



記念の
風船飛ばし



運動会 平成21年



修学旅行(長崎) 平成21年



学校de芸術文化体験 令和3年

ダム湖の名称は
公募により決定しました



津野小学校記念碑



こいのぼり作り
平成19年

門司海青小交流
(北九州市水道局児童交流事業)
平成19年



運動会 平成19年



鍛錬遠足 平成19年



油木ダム見学 平成19年



花壇看板づくり 平成20年



米脱穀体験 平成19年



林業体験 平成19年



休校式 令和4年3月



ドローン写真

校旗



校札



校歌

一 英彦の峰の 空晴れて
緑ゆたかな 山脈に
古き歴史は 今もなお
われらが光 新なり
ああ津野校 わが母校
二 流れも清き 今川の
きしべの里の 学び舎に
けわしき道を 集いきて
学ぼう友よ 六年を
ああ津野校 わが母校



先代校舎 昭和49(1974)年



体育授業 昭和54(1979)年



給食室 昭和49(1974)年



交通安全教室
昭和55(1980)年



福岡市見学
昭和55(1980)年



航空写真 昭和61(1986)年



入学式 昭和55(1980)年



終業式 昭和55(1980)年



卒業生集合写真 昭和40(1965)年



6年生を送る会 昭和61(1986)年



あいさつ運動 昭和62(1987)年



修学旅行(別府方面) 昭和37(1962)年



運動会「整理体操」
昭和43(1968)年



鼓笛隊
昭和43(1968)年



添田公園遠足 昭和49(1974)年

沿革

- 明治5(1872)年 11月
添田町法光寺をかりて添田小学校の基となる尋思校が開かれる
- 明治9(1876)年
添田村宇北畑旧小倉藩社倉(現在の添田小学校の場所)に移転する
- 明治45(1912)年
添田小学校を南北両校に分離する
- 昭和6(1931)年
添田南尋常高等小学校を設立する
- 昭和20(1945)年
南北小学校を合併して校名を添田尋常高等小学校と称する
- 昭和22(1947)年
6・3制実施により添田小学校と改称する
- 昭和27(1952)年
先代となる木造校舎が完成する
- 昭和33(1958)年
児童数が3155人(ひと学年に約10クラス)となり、全国でも有数の大規模校となる
- 昭和54(1979)年
現在の新校舎(鉄筋コンクリート)が完成する



校舎



歓迎遠足



教室



なかよし広場



保育園との
合同いもほり



運動会



6年生を送る会



運動会



正面玄関(外)



正面玄関(中)



体育館



正門



裏門



図書室



学校案内板



旧正門



閉校時の全校児童の集合写真(令和6(2024)年撮影)



校旗



校札

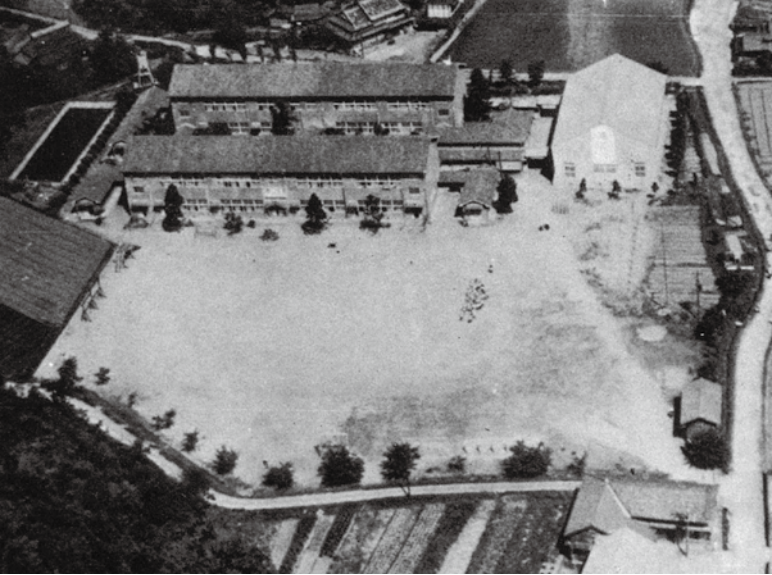
校歌

一 世代の光を 添田なる
まな 学びの庭の 礎は
まこと 誠の道に築かれて
ゆく末永く 栄うべし

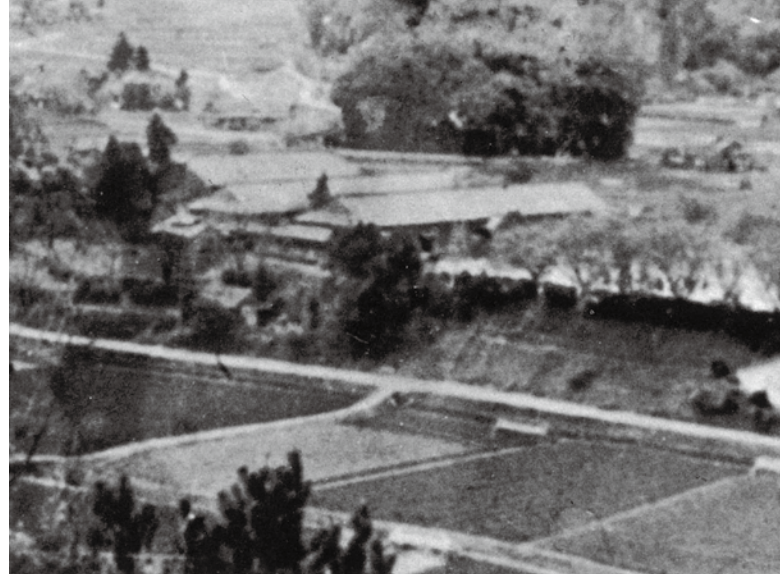
二 教えの流れ 彦山の
川にもまして 清らかに
たゆむことなく よきことを
求めて進め かたときも

三 光さし添う 岩石山に
常磐の色の 増すごとく
わが世を照らす 生業の
道怠らず 務むべし

天野 淡翠 作詞
田村 虎蔵 作曲



旧校舎全景 昭和28年～56年



旧校舎全景 大正9年～昭和28年



旧大藪分校



旧校舎玄関

地域みんなで
楽しい夏のつどい



営火祭



中元寺小学校運動会 平成10年10月4日

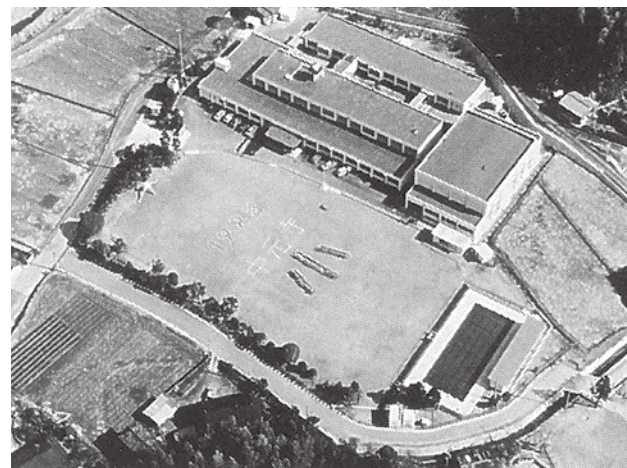
地域のみなさんをまねいて
楽しいひととき



中元寺っ子まつり



落成式
昭和56年



新校舎空から 昭和56年



百年祭の児童合唱



百年碑

- 明治11(1878)年 創立(中元寺村元中元寺字田中)
- 明治17(1884)年 大藪に分教場増築
- 明治20(1887)年 大藪の分教場を廃止
- 明治22(1889)年 中元寺小学校簡易科となる
- 明治25(1892)年 中元寺尋常小学校と改称
- 明治27(1894)年 大藪に分教場を再設置
- 明治28(1895)年 校舎一棟を新築、移転
- 大正9(1920)年 校舎を新築し、移転
- 昭和10(1935)年 講堂新築落成
- 昭和12(1937)年 上添田炭鉱により児童数が急激に増加する
- 昭和15(1940)年 中元寺国民学校と改称
- 昭和18(1943)年 高等科を設置
- 昭和22(1947)年 中元寺小学校と改称
- 昭和28(1953)年 校舎新築し、移転
- 昭和31(1956)年 上添田炭鉱閉山により児童数が激減する
- 昭和34(1959)年 完全給食開始
- 昭和44(1969)年 大藪分校廃校
- 昭和53(1978)年 創立百周年記念式典挙行
- 昭和56(1981)年 校舎新築落成
- 昭和59(1984)年 県教育委員会研究指定委嘱(社会)
- 平成元(1989)年 県小学校算数教育研究会委嘱発表会
- 平成4(1992)年 パソコン設置
- 平成10(1996)年 創立百二十年記念式典挙行
- 平成20(2006)年 創立百三十年
- 平成30(2016)年 創立百四十年



校舎全景



マラソン大会



運動場



図書室



宿泊体験学習4・5年生



稲刈り体験5年生



3校合同修学旅行6年生



校庭へ全員集合



校旗



玄関



正門前



昇降口



卒業制作



教室

事務室窓口



合い言葉

校歌

一 諏訪の神社のいつきます
おんが かわ 川上に
清き水音 絶え間なき
郷土うるわし
わが 中元寺

二 春は若葉の もえいでて
四囲の山々 緑濃き
秋は黄金の 波うちて
いよよ 栄えん
わが 中元寺



校札





明治九年四月、上落合村、下落合村、枳田村の山村合同で下落合村の城野前河原に簡易校を開校。

明治二十二年に三村が合併して彦山村が誕生。時代の進展と共に、教育内容の充実、児童の増加等から落合第二小と落合第二小学が統合。次々と公布された新しい学制とも重なり、数回の校名変更や校舎の増改築・修繕を経て、大正十九年に現在の地に新校舎を落成。昭和二十年十二月、二又トンネル爆破による児童二十九名、教職員二名死亡の惨事。

終戦後の昭和二十二年、落合小学校と改名されると同時に従来の高等科は新制中学校となった。（英彦中学校の起り）

昭和三十二年、現在地に二階建ての校舎を新築落成。

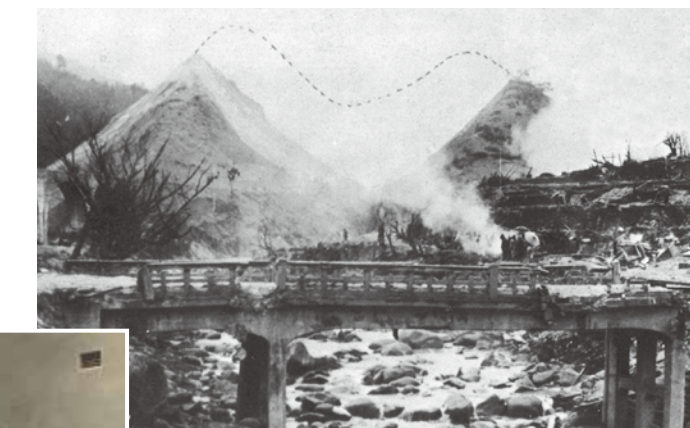
昭和五十五年、創立百周年記念祝典挙行

平成二十二年、英彦中学校閉校により、保・小で合同運動会を実施。

令和五年、豪雨災害による校舎内床上浸水。八日間の休校



学校の時を刻み続けた「時鐘」



二又トンネル爆破 昭和20年11月
火薬爆発で破碎された二又橋と吹きとんだ附近住家(当時)



運動会 昭和25年



校舎落成式 昭和32年



離任式 昭和51年



全校バス遠足 平尾台へ
昭和54年10月



へき地教育研究発表会
昭和52年11月



新校舎建築
昭和54年



旧校舎解体作業 昭和54年10月



プール学習 昭和60年



菊づくり 平成3年



親子ふれあい活動 平成6年



運動会 平成2年



もちつき大会 平成5年1月



学校敷地内を流れる小川
昭和54年



岩石城まつり参加 平成4年



地域清掃奉仕活動 平成8年



わんぱく広場作り 平成8年



航空写真 昭和22年12月



校舎



正面玄関(外)



正門



校訓



2024年1月



スポーツ大会でのエイサー 2024年



人権学習風船飛ばし 2024年



豪雨災害 2023年7月

土砂の堆積で
タイル張りの床が
見えない



職員玄関大量の土砂で
扉が開閉できない



プール学習 2022年



雪遊び 2024年



バレエ鑑賞教室 2024年



マラソン大会の後の
焼き芋大会



いも掘り 2023年



絵本読み聞かせ 2022年



航空写真



校旗



校札

校歌

一 英彦の山の いや高き
神代の姿 うつしつ
清き流れの ほとりなる
学びの庭ぞ うるわしき

二 真剣 進取 協同の
教えはしるし としかなる
太祖の宮の 森のごと
強く正しく 伸びゆかん

三 高き功と 業の
道は尊し 朝夕に
務め励みて 諸共に
誠の人と なれよかし



新校舎落成
昭和55年9月



新校舎落成祝賀会 昭和55年9月



新校舎地鎮祭 昭和55年



旧校舎建築 昭和34年



旧校舎開校式 昭和34年



第1回運動会 昭和34年

きょうはどんな題かな?
エッ!!「きょうの学校?!!」



作文集会公開 昭和57年



遠足
昭和56年10月



トランペット鼓笛隊誕生(土地レクリエーション大会)
昭和63年



水泳大会 昭和50年



プール完成 昭和36年9月



学校全景と人文字(高度300m)



演芸大会 創立30周年記念行事
平成元年6月18日

現在の真木小学校校区には、昭和三十年代前半の頃までは大手の古河大峰鉱業のほかに真木炭鉱、寿炭鉱という小炭鉱もあつて住民も多く、いわゆる炭鉱景気で活気を見せていた。昭和三十四年に石炭合理化計画が策定、推進される中、昭和三十四年六月十八日、真木小学校は創立開校した。昭和四十五年頃、真木小学校体育館建設問題と児童数激減に端を発し、真木小学校を廃止して添田小学校に統合しようとする真木小学校統廃合問題が起こった。しかし、校区住民の間に真木小学校存続の希望が極めて高く、統廃合に対して校区上げの猛反対運動が始まった。その結果、同四十八年六月の町議会で「真木小学校存置について」の請願が採択され、統廃合は実現に至らなかった。

統廃合問題に決着がつくや、昭和五十四年には、現在の新校舎、体育館が落成し、翌五十五年にはプールが完成、運動場、通学路が整備され現在に至る。



全校写真



図書室



体育館(外)



体育館(中)



ランチルーム給食



運動会



正面玄関



児童昇降口



校門



シンボルのプラタナスの木



中庭



運動場



プール



ドローン写真



校旗



校札

校歌

一 光の中で
瞳がかがやいている
いつもまじめな真木のこども
英彦の山のように
大きい理想が 空にとどくまで
力いっぱい まなぼうよ

二 緑の中で
からだはずんでいる
いつも 元気な 真木のこども
英彦の川のように
明るい希望が 海につづくまで
胸をはって 進もうよ

三 朝日の中で
笑顔がならんでいる
いつも 仲良し 真木のこども
桜の花のように
楽しい夢が 土に育つまで
すんだ心で 生きようよ

末広 清利 作詞
那須 信義 作曲

令和7年4月開校

「添田小学校」

1階と2階を小学校エリア、
3階を図書室などの小・中共有エリア、
4階を中学校エリアとした新しい学校は
町で育てた木をふんだんに活用した
「生きる力」を育む学校です。



北面鳥瞰



図書室



中学校教室前廊下



小学校教室前廊下



3階中学校昇降口



2階小学校昇降口



1階小学校昇降口



南西面鳥瞰

※画像はイメージです。完成とは異なる場合があります。



英彦山の鬼杉

添田町立小学校5校 閉校記念誌

発行日
令和7(2025)年3月

発行者
添田町立小学校閉校記念誌
作成実行委員会

印刷所
丸五印刷株式会社